

株式会社岡田製作所

群馬県館林市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

国内トップシェアのプラントメーカー 東南アジアでの事業化も進行中

同社は、創業以来60年以上にわたり、プラントメーカーとして、有機質産業廃棄物を堆肥化し、資源を循環させることに取組んでいる。我が国の堆肥化技術は先進国を含む世界各国に比べても進んでおり、同社はその国内市場でトップシェアを誇る。近年では、バイオガスのメタン発酵・発電装置なども手掛けるほか、リサイクル技術が発達していない東南アジアに事業展開している。2018年8月にはフィリピンで現地法人を設立、さらにベトナム、マレーシアにおける事業計画が進行中である。

- 所在地 群馬県館林市近藤町318番地の2
(館林金属工業団地内)
- 電話/FAX 0276-74-3838/0276-74-5818
- URL <http://www.okadass.com>
- 代表者 代表取締役 鈴木 郁男

- 設立 1967年
- 資本金 2,500万円
- 従業員数 37人



需要獲得

地域課題である生ごみ処理解決を通じ、東南アジアで事業展開

東南アジアは経済発展に伴ってごみ問題が深刻化している。ごみ処理需要の拡大を見込んだ事業展開を計画している。フィリピンではJICAの「普及・実証事業」の採択を受け、ルソン島南東部のレガスピで日量10トンの生ごみを処理できる施設を設置。現地法人を設立している。ベトナムでもホーチミン近郊の肥料会社とプラントを設置する予定である。肥料として主に使用されてきた鶏ふんが禁止されたため、ベトナムではそれに代わる有機肥料の需要が高まっている。今後の事業展開を見据え、ベトナム人正社員を採用済である。



ルソン島レガスピにある生ごみ処理施設

海外展開事例として地域に貢献、人材育成への取組み

同社所在の館林金属工業団地(13社)は、金属加工業専用団地として積極的に企業誘致を行っている。団地組合副理事長会社として、海外展開を実現した同社は、工業団地のPRに貢献している。また群馬県は海外ビジネスを目指す企業の支援を行なっているため、同社は県内企業の海外進出モデルケースとしても貢献している。他にも、毎年、地元大学からインターン生を受け入れている。地域の将来を担う人材の育成だけでなく、外部者の視点を社内に取り入れ、気づきにつなげることを目的とした取組みである。



地元大学インターン生との作業風景

自社製品のアフターサービスとコンサルテーションにも対応

「創意工夫を信条に地球環境にやさしいすぐれた製品で社会に貢献する」という経営理念の通り、環境問題には一層、真剣に取り組んでいる。顧客の要望には、出来る限り、迅速に、フレキシブルに対応している。製品メンテナンス要員が10名程度、社内に常駐しており、国内各地の販売店と連携することで、そのような対応を可能にしている。栃木県茂木町の有機物リサイクルセンター「美土里館」における「高品質堆肥発酵攪拌処理プラント」導入実績をもとに、堆肥コンサルタントとして顧客にアドバイスすることも行っている。



同社が栃木県茂木町「美土里館」に導入したプラント

ものづくり